

上手な言づかい言と言づかいPDF转换可能丢失图片或格式
，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/146/2021_2022__E4_B8_8A_E6_89_8B_E3_81_AA_E8_c105_146320.htm 言は、光や空、水などのように、わたしたちの生活には、欠くことの出家ないものである。しかし、多くの人、光や空、水などのことをあまり考えないように、言のことも、ほとんどにかけない。言によって、わたしたちは自分の考えを人に知らせたり、人の考えを知ったりする。近の言で言えば、コミュニケーションの役割をするものである。「目は口ほどにものを言い¹」、私たちは、表情とか、手まねや身振りでも、意思や感情を表すことができるし、束によって、色や音、形なども、言のわりに使うこともあるが、言のように、正に、かくはできない。言は普通、口で音声によってして人にえられるが、それを文字にいてすることもある。それで「言」と「き言」に区することがあるが、私たちはなんと言っても、し言を使うことが多い。普通の人の生活では、くことが四十五%、すことが三十%、むことが十六%、くことが九%の割合になっているということである。かつて、国立国研究所が福の白河市で、民と文房具商と床屋の三人に、つきっきりで克明にべたものによると²、一日二十四のうち、これらの人がおきているのは平均十七で、そのうち、んだりいたりするは、わずか十分足らずであったと言う。だとすると³、私たちは、みきには相当力を入れて学するけれども、しく言は、声器官かに故障でもない限り、にでもできるように考えて、特に勉をせず、もしない状を反省し

なければならない。いったい日本では、「口はわざわざいの4」とか、「わざわざは口より出て、病は口よりはいる」とか、「したはいの」「キジもかずばたれまい」「口を利かぬは最上の分6」などといわれてきた。はいせい芭蕉7も「ものいへば唇寒し秋の8」とんだ。それで、ともすると9、すことはよくないことでもあるようにおもわれがちであった10。（もっとも「雄弁は、沈は金」と言うことわざがある。）そして、自分の考えを述べる言を「口を出す」とか、「口がい11」とか言って、いましめられた。これは教や儒教の影とか、封建制度の物ともいえるが、「物言わぬは腹ふくるる12」であるはずだ。お互いにし合い、わかりあって行くことがたいせつである。いらぬ口を利いたり、へらず口をたたいたりすることは慎まなければならない13が、わたしたちは、もっとに、に物を言う14ことによって、世の中をもっと住みよく、しいものにすることができるはずである。いや、そうしなくてはいけない。会政治なども、そういう前提のものであると思う。1.目は口ほどにものを言い - 眼睛像嘴一样会说话 2.つきっきりで克明にべたものによると - 根据仔细地跟踪调查所得的材料 3.だとすると - 如果是这样的话, 那么 4.口はわざわざいの - 不说为佳 5.キジもかずばたれまい - 野鸡不叫, 不会挨枪打 6.口を利かぬは最上の分 - 不说为佳 7.はいせい芭蕉 - 日本江戸时代著名的俳句诗人 8.ものいへば唇寒し秋の - 多说话是会惹祸的 9.ともすると - 往往, 动不动 10.おもわれがちであった - 容易被认为 11.口がい - 多嘴 12.物言わぬは腹ふくるる - 有话不说肚子会憋涨的 13.いらぬ口を利いたり、へらず口をたた

いたりすることは慎まなければならない - 要注意不要瞎说
14. もっとに、に物を言う - 更加轻松愉快地谈论问题 100Test
下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问
www.100test.com